



### 平成 25 年度龍野高校教育研究大会

2月10日(月)、龍野高校教育研究大会が行われました。この大会では、本校のSSH事業への取り組みを、公開授業や生徒発表会で紹介しました。

まず始めに、4時間目に研究授業・公開授業が行われ、SSH運営指導委員の先生方や他校の先生方に見学していただきました。ある研究授業では、課題が与えられ、グループで課題解決に取り組む場面が見られました。



午後からは、SSH校内研究発表会として、生徒達によるこの1年間のSSHに関する取り組みを全校生徒に紹介しました。

生徒発表では、次の4つの報告がありました。

1. ルーズベルト高校訪問
2. 台湾研修
3. 東京研修
4. 課題研究

課題研究の報告では「醤油とアミノ酸～醤油製造過程でのアミノ酸の変化～」 「新舞子干潟に生息する生物お

よび環境の調査」という2つのテーマについて発表がありました。

発表は、動画や写真を効果的に使ったり、英語でプレゼンテーションをするなど、創意工夫を凝らしたものでした。

また報告の最後には、質疑応答の時間が設けられ、SSH運営指導委員の先生方や他校の先生方に、講評や質問などのコメントをしていただきました。その中で、課題研究について、科学的リサーチのアドバイスなどもしていただきました。

その後、『新しい時代を拓く人材とSSH事業』と題してシンポジウムを開きました。コーディネーターを兵庫教育大学の小和田善之先生にお願いし、パネラーにグローリー(株)の大河原勲氏、同窓会副会長の浅井良昭氏、本校教員1名、生徒2名の計5名に様々な意見を出していただきました。会場のSSH運営指導委員の先生方からも質問や意見がありました。生徒からの率直な意見、大学教員や企業の視点からの意見など、様々な意見が出ましたが、最終的に、「SSH事業の大きな目的をもう一度

考え直し、共通理解を図ること」「能動的な参加や楽しさを生み出していき、わくわく感を持って、魅力的なことをどんどん積極的にやり続けること」この2つが重要であるという結論に達しました。

シンポジウムの後には、第3回SSH運営指導委員会が開かれ、委員の先生方から、龍野高校の1年目の取り組みについて、感想や意見、今後の課題などを話していただきました。来年度以降のより良い取り組みをしていくために大いに役立つ会になりました。

